

キンダーブック3 9月号



今月は防災用品をキャンプ道具に見立てました。自分が持っている防災頭巾は何に見立てられそうか、想像をふくらませてみましょう。表紙の絵から防災について話を広げ、防災用品にはどのような物があるか確かめたり、裏表紙の安全コーナーへと話をつなげたりしてもよいですね。



つきを みてみよう！

ねらい 月についてのクイズを楽しみながら、天体への興味関心を高めましょう。

まずは、「満月を見たことはある？」「夜の月はどうに見える？」などと尋ねてから、最初のクイズを出題してみましょう。子どもたちの意見を引き出してからページをめくり、答えを確かめられるとよいですね。



どんな形の月を見たことがあるか問いかけてから、2問目のクイズを出題してみましょう。6～7ページでは月が動くことや、月の満ち欠けについて説明します。月の形が毎日変わって見えることへのおどろきや、不思議さを感じられるとよいですね。

月から地球までの距離や、月面の世界について知らせます。地球から一番近い星である月でもかなりの距離があること、そして、月面の世界は地球とまったく違う環境であることを伝え、宇宙への興味が広がるとさらに楽しいでしょう。



やさいのうかさん



ねらい 野菜農家さんが野菜を育てるときに工夫していることについて、話し合しましょう。

つかい方のポイント 野菜農家さんはじゃがいもを収穫するまでにいろいろな工夫を凝らし、手間暇かけて育てていることを伝えます。野菜農家さん以外にも、米や果物、酪農などさまざまな一次産業の仕事があることも知らせ、関心を向けられるとよいですね。



じしんの ときの あんぜん



ねらい 地震が起きたときに身を守る方法を確認しましょう。

つかい方のポイント 地震が起きたときの正しい身の守り方を再確認します。「間違いの行動はなぜいけないのかな？」「正しくはどうしたらいいと思う？」などと問いかけ意見を出し合うと、さらに理解が深まるでしょう。園での約束ごととも再度伝えましょう。

「キンダーブック3」を保育にご活用ください！

絵本をつかった 指導計画の文例

コーナー	子どもが経験すること	保育者の配慮	5領域	10の姿
しぜん 「つきをみてみよう！」	● 月面の世界を知る。 ● 月が光って見える理由や満ち欠けについて知る。	● 誌面をじっくり見ながら、月面の世界を伝える。地球との違いを実感できるように、実際の例を挙げながら重力や月面のようにすについて説明する。 ● 図鑑や絵本を用意し、天体への興味関心が深まるように環境をととのえる。 ● 太陽を懐中電灯、月をボールで表し、懐中電灯の光をボールに当てながら子ども自身が理解しやすいように説明する。	環境 言葉	● 自然との関わり・生命尊重 ● 思考力の芽生え ● 言葉による伝え合い
あんぜん 「じしんの ときの あんぜん」	● 地震が起きたときの正しい身の守り方を再確認する。 ● 園での標語や避難のしかたについて再確認する。	● 誌面を見ながら、地震が起きたときの正しい身の守り方を考えたり、意見を話し合える機会を作る。 ● いつ起きるかわからない災害に備え、戸外や室内、トイレにいたときなど、状況に応じてどのような行動をすればよいかを考えられるように伝える。	健康 言葉	● 健康な心と体 ● 道徳性・規範意識の芽生え ● 思考力の芽生え ● 言葉による伝え合い

シールコーナーは自然コーナーと連動した月の世界！

